



にし やま
西 山 み え

けん と
県都クラブ

学校給食の共同化の在り方は

問 現在、神戸小で片田小と櫛形小の、白塚小で栗真小の給食を調理し、配送している。

小学校の大規模改修時に調理室にドライシステムが導入され、環境は改善されたが、児童に安全安心な給食を提供する現場において、共同化による調理員の負担は大きく、手順の複雑化は、給食事故を起こしかねない。

現状の課題点の解決と新規の共同化に向けての考え方は。

現場の声を聴きながら課題解決に取り組む

答 共同化後の業務について、調理員、配送員、配膳員がそれぞれ少しずつ慣れてきてはいるものの、献立によっては、余裕がない状況である。

このため、配置された職員数で、時間内での円滑な作業が進められるよう、現場の声を聴きながら、しっかり検討を行う。

平成31年度は、新町小を調理校、安東小を受け入れ校とする共同化を実施予定である。

すでに共同化を開始した小学校の調理現場、配膳現場の声を聴く「改善会議」を定期的に開催しており、今後も、現場の声を聴きながら、課題を把握・解決し、安全安心な給食を提供できるよう取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○住宅新築資金等貸付金の未収金については、法的手段も含め、適正に回収を

○入所児童数が増加傾向にある放課後児童クラブについては、適正な規模での運営ができるよう状況把握と話し合いを

○サオリーナオープン1周年を迎え、市外からの来場者に対して、さらなるおもてなしの方法を考えていくべき



▲サオリーナエントランスでのおもてなしの様子



たき まさ ひろ
滝 勝 弘

にほんきょうさんとうつしぎたん
日本共産党津市議団

学校・公共施設のブロック塀の対処を早急に

問 市が緊急点検を行った後も、児童や市民が学校のブロック塀の脇を通行している。危険な2校の塀については撤去したが、それ以外の塀には「ちかづかない」などと掲示したままである。これらの塀の撤去はいつになるのか。また、対策が完了するまでの進捗状況を保護者や地域に説明しているのか。対策に当たっては、児童や市民の通行の安全、地域の安全を優先し確保を。

ブロック塀の状況把握と早期の対策に努める

答 プールを囲むブロック塀については、金属フェンスを設置するための設計が12月半ばに完成予定であり、年度中には工事の契約締結を行い、2019年5月末には完成予定である。

学校敷地外周のブロック塀については、三重県建築士事務所協会による調査の実施、改修方法等の提案を受け、関係所管と協議を行っている。また、内容について精査を行い、ブロック塀の状況把握に努め、計画的な対応、緊急的な改修、補修にしっかりと取り組んでいく。

保護者や地域の方々には、施工業者や工事のスケジュールが決定後、学校だより等で周知を図っていく。

●その他の質疑・質問●

○海岸地域の防災対策は、津波対策に加えて高潮対策を

○浸水対策からも、田中川などのしゅんせつを

○津波からの避難は水平避難だけでなく、避難タワーなど垂直避難の選択肢を考えるべき

○地域経済と地域住民の生活に大きな影響を与える消費税増税について、とりわけ中小の事業者者に与える影響は など



▲学校現場ではこのような掲示が夏からそのままに